

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

1. 学校概要

学校名 当別町立弁華別小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒061-0208
石狩郡当別町弁華別243

E-mail : benkebetsu-el@sc.town.tobetsu.hokkaido.jp

Website : ://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/school/benkebetsu-el/

児童生徒数：男子 3名 女子 12名 合計 15名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は、恵まれた自然環境を生かし、自然との共存、自然と農業などについて学習を行っている。また、全校児童が15名と少ないので、活動については全校での取り組みが中心となっている。年間を通して例年、以下のような活動を行っている。以下は、今年度実施した活動についての報告です。

①地域清掃活動 (H26年5月7日実施)

中学校と共同で、雪どけ後の道路わき・歩道のごみ拾いを保護者や地域の方々の協力を絵ながら実施している。地域の清掃活動を行うことで、環境の美化について体験的に学んでいる。

②緑の少年団緑の羽根「募金活動」(H26年5月20日実施)

森を増やすための取り組みの一環として、小学生5・6年生と中学生1年生と合同で、「緑の羽根」募金活動に取り組んでいる。

③農園活動 (H26年5月19日から11月まで活動)

児童一人一人が自分で育てたい野菜を選び、植栽から草取り・水遣り、収穫まで行っている。夏休み中も登校日を決めて、みんなで草取りや水遣りなどの活動に取り組んでいる。今年度も保護者も一緒に参加し、野菜の世話をを行った。

自分で育てた野菜を使って、料理をしたり、東日本大震災のための募金のプレゼントにつかたりしている。

④宿泊学習における「森林学習」(H26年7月10日～11日)

道民の森での全校宿泊学習の中で、森林体験・自然体験・森の動植物とのふれあい学習を行っている。

今年度も「当別エコロジカルコミュニティ」の山本先生に外部講師を依頼し、ワンダースクールを行っている。今年は、「森のビンゴ」というプログラムを実施した。

⑤農園クイズ (H26年10月26日実施)

育ててきた野菜にかかわるクイズをつくり、学芸会で来校した保護者や地域の方々対象に、〇×クイズを実施した。

「にんじんに花は咲くのか」「きゅうりの名前のゆらひは？」など子どもたちが自分で育てた野菜にまつわる問題を作り、発表していた。

⑥植樹活動 (H26年10月18日実施)

今年度は、「空知振興局」からの依頼を受けて、道民の森の植樹活動に参加した。砂防ダムの見学や果たす役割の学習、森を育てることは、豊かな水を作ること、そして様々な動植物を育てることにつながることを、学んだ。

⑦オランダ北海道人会からのチューリップの球根植え (H26年11月20日)

表記の団体からチューリップの球根60個をいただき、学校前の花壇に植えつけた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

■ 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)

■ 時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他 ()